

# 価値革新への挑戦

Innovation

— 新たな価値を生み出すとき、  
今こそ知のアップデートを —

# OIA

Osaka Castle Innovation Hills Academy

## 大阪城イノベーションヒルズ・アカデミー

ビジネススキルとミドル・マネジメント力の養成講座

受講者用説明書



コロナ禍で経済社会は停滞しているでしょうか？ そうではありません。  
実はこれまでの仕組みを組み替えなければならない、大きな変化が進行していることを見落とすことはできません。  
本格化するデジタル・トランスフォーメーション(DX)、広く深く浸透するダイバーシティ、スピードを速めるマーケットの変質、グローバルとローカルの両方から押し寄せる競争圧力など、どれを取っても企業にはあまりに重大な現実ばかりです。この新しい現実のなかで経営をリードするには、目線の高い一皮むけた経営人材が必要です。  
この養成講座では、受講者が自らの殻をやぶって、現実を直視し、次代の経営リーダーへと成長することを目指します。

## 目的

高度な経営知識の修得とその実践能力を練磨する。

そのために、

- ①経営知識の学問上の位置づけと経験豊富な講師陣による実践的な経営理論の修得
- ②実務者を交えた深いケース分析と徹底した討議による論理的な思考の確立を目指す。

## 開催日と開催場所

第1回:2022年10月29日(土):グランフロント大阪(大阪市北区大深町4-20)

第2回:2022年11月19日(土):大阪デザインセンター(大阪市中央区船場中央1丁目3-2-1)

第3回:2022年12月03日(土):大阪デザインセンター(大阪市中央区船場中央1丁目3-2-1)

第4回:2022年12月17日(土):大阪デザインセンター(大阪市中央区船場中央1丁目3-2-1)

第5回:2023年01月14日(土):大阪デザインセンター(大阪市中央区船場中央1丁目3-2-1)

第6回:2023年01月28日(土):大阪デザインセンター(大阪市中央区船場中央1丁目3-2-1)

第7回:2023年02月11日(土):ホテルグランヴィア大阪(大阪市北区梅田3丁目1-1)

(※開催場所は、状況に応じて変更する場合がございます。)

## タイムスケジュール(目安)

- 12:50 開場
- 13:00 経営知識の習得と実践講義
  - ・講義概要説明
  - ・テーマに関する学問上の位置づけ説明
  - ・講師による体験講義
- 14:30 休憩
- 15:00 グループケーススタディ
  - ・ケーススタディ1  
(事前に提示した課題に基づく検討)
  - ・グループごとの発表～総評
- 17:00 テーマに関する学びの深め方
  - ・参考文献紹介
  - ・今後の学び方解説

## 経営知識の習得と実践(高度な経営知識の習得とその実践能力育成)の概要

7人の追手門学院大学客員教授(社会人講師)と九州大学MBAを立ち上げた九州大学名誉教授塩次先生のコラボレーションによって、理論と実践を同時に学ぶ全7回の養成講座です。

	テーマ	学びの内容
第1回	会社とは何か ～企業の価値創造～	会社の基本原理、会社の伝統と未来、企業の価値創造
第2回	ロジカルシンキング ～経営課題解決の知の技法～	クリティカルシンキングの理解、ソリューションへ導く仮設思考、ソリューションへ導く知の技法
第3回	会社の価値を分析する ～数字で会社の価値を把握する～	会社の価値の捉え方理解、会社の価値を図る技法、M&A戦略と事例
第4回	人を動かす、組織が動く ～現代のリーダーシップ～	リーダーシップの理解、モチベーション形成、組織論
第5回	会社の価値を高める ～エンタメ業界における人材発掘～	人材の評価方法、人材の教育方法、人材価値と会社価値の関係性
第6回	経営戦略を見極める ～戦略の分析から展開へ～	戦略的な分析に用いられる技法の点検、分析手法の基本原則と各手法の限界、成功戦略と事例
第7回	まず足元から、そして目線を上げる ～共有価値を実現する経営～	企業不祥事の研究、経営における多角的視点の必要性、共有価値(CSV)の実現を目指して

## 各回の講義内容

### 第1回:2022年10月29日(土) 講師:島田 太郎 氏 (株)東芝 代表執行役社長CEO

1. 会社の基本原理はなにかを考える。その中で、会社の伝統と未来をどのように作り上げていくべきなのか、について事例で学ぶ。
2. 会社は誰のものかを考える。社長は何をしているのか? 株主や金融機関と会社はどのような関係にあるか? 企業の仕組みを通してこの疑問を考えてみる。
3. 成長し続ける会社の価値創造とは? そのトップは何を考えリーダーシップを発揮してアクションを起こしているのか? など事例を通じて理解を拡げる。

### 第2回:2022年11月19日(土) 講師:小林 浩 氏 (株)リクルート リクルート進学総研所長 カレッジマネジメント編集長

1. 問題の解決や価値創造の打ち手(クリティカル・シンキング)を理解し、ソリューションを導く仮説思考を学び、ロジカルシンキングを自分のものにする。
2. グループ討議を通じてクリティカル・シンキングによる経営課題(事例)の解決を行う。続いて、グループで解決策をアクションプランに構造化する。
3. ソリューションを導く知の技法をストーリーとしての経営戦略に照らして学びとる。

### 第3回:2022年12月3日(土) 講師:下村 正樹 氏 (株)T2 代表取締役CEO

1. 会社の価値とは何かということについて、会社の3種類の計算書類の構造を明らかにする。それに基づいて、実際の会社を取り上げて、各自で価値分析を行う。
2. 資本市場で評価される会社の価値指標の意味を考える。M&Aなどケースを用いて考察する。

### 第4回:2022年12月17日(土) 講師:布施 努 氏 (株)Tsutomu FUSE 代表取締役 PhD Sport Psychology Services

1. リーダーシップの極意を押さえ、現代社会が必要とするリーダーシップを考える。あわせて組織が機能するモチベーションの実態も取り上げる。
2. 組織が動くよいリーダーとよいリーダーシップはどうすれば実現できるのか? 構成員が自発的に頑張る組織や燃える組織はどうすれば生まれるのか? を考える。
3. リーダーシップが機能している事例を紹介する。

### 第5回:2023年1月14日(土) 講師:大淵 隆 氏 (株)北海道日本ハムファイターズ GM補佐兼スカウト部長

1. 会社の価値を高めるためにどのような人材発掘をすべきなのか、そのための評価基準をどのように定めるのかをエンタメ業界を事例に考える。
2. 獲得した人材をどのように育成、教育していくべきなのか、そこにどのような課題が存在するのか、体系化を図る。
3. 会社価値と人材価値の関係性を整理し、人材獲得のヒントを導き出す。

### 第6回:2023年1月28日(土) 講師:別府 幹雄 氏 (一社)SDGsオープンイノベーションプラットフォーム 代表理事

1. 戦略的な分析に用いられる技法を点検する。日常的に使用している5フォースーズ、PEST、SWAT、4Pや4Cなどを支えている基本原理と各技法に潜む限界を理解する。
2. 戦略への展開を考察する。成功をおさめている戦略をつらぬく論理を問い直す。バカな戦略がなぜ成功し、また失敗しやすいのか、などを課題としていくつかの事例を分析する。

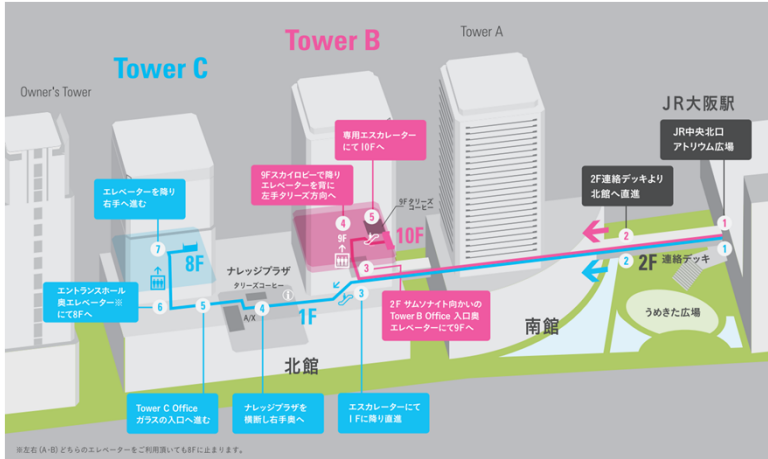
### 第7回:2023年2月11日(土) 講師:谷垣 雅之 氏 (株)共有価値創造研究所 代表取締役 マルシェ(株)相談役・教育アドバイザー

1. まず足元を直視する前提として「クリティカルシンキング」を理解する。その上で、企業不祥事がなぜ起こるのか、講師自身の体験と研究について講義をする。その後、それを予防するためにはどうすればよいか、全員で議論・共有する。
2. 次に目線を上げるための視点として、経済的価値と社会的価値を共有する「Creating Shared Value(共有価値の創造)」(以下CSVという)概念に関する講義を行う。
  - ① 事前課題として、各自の業界で発生した不祥事事例を事前に調査・分析し、発表の準備をする。
  - ② 受講生が所属する組織におけるCSVプランを企画し、受講生全員が発表・質疑応答・評価を行う。

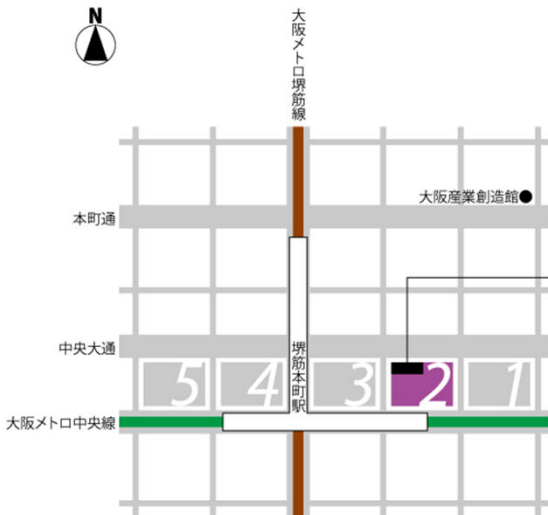
## 会場へのアクセス

第1回会場：グランフロント大阪 タワーC 8階 C04

第7回会場：ホテルグランヴィア大阪



第2～6回会場：大阪デザインセンター



### 船場センタービル 2号館 1階 北通り

堺筋本町駅からは、東改札口(①②③出口方面)より船場センタービル2号館(地下2階)へ入りエレベーター(エスカレーター・階段)で1階へ

※19時～20時の間に東西出入口のシャッターが閉まり、エスカレーターも停止します。南北出入口からか、地下からのエレベーター、階段をご利用ください。



### ■受講に際して、ご準備頂くこと

- 1) 経営知識の習得と実践のケーススタディについて  
初回を除いて、次回ケーススタディに関する課題が出されます。それを事前に準備して講座に出席いただきます。また、自社の課題にもとづくケーススタディも実施します。ご自身で当日のテーマに関する自社の課題を抽出していただき、外部へ出せる範囲内のデータ等をご準備ください。
- 2) 受講生のプロフィール作成について  
講師の講義運営を円滑にするために、受講生の方々のプロフィール(氏名、年齢、会社名、所属、役職、趣味、特技など)を教えてくださいと考えております。フォーマットをメールで送信しますので、そのフォーマットに必要な事項を入力いただき、入力したファイルを事務局(E-mail: oia@otemon.ac.jp)まで返信ください。
- 3) Dropboxを用いた電子ファイルの共有  
講師のプレゼン資料(配布可能な場合のみ)、講師からの事前課題などの情報を、Dropboxを用いて、受講生と共有します。プレゼン資料は紙での印刷は行いませんので、必要な場合は事前に印刷またはPCに保存下さい。Dropboxにアクセスできない場合は、事務局までお申し出ください。
- 4) 持参物について  
当日Dropboxでの資料共有の可能性があるので、可能であればPCをご持参下さい。会場では、Free Wi-Fiを用意しています。他に、筆記用具、名刺があれば十分です。ドレスコードはカジュアルでお願いします。